

令和３年度 第１回子ども部会 議事録

日 時：令和３年５月７日（金） １１：００ ～ １２：００

場 所：ぴあリンク奄美２階会議室と ZOOM を用いたハイブリット方式

参加者：愛かな、ハートリハ龍郷、はごろもの郷、ヒマワリクラブ、ヒマワリ就学塾、希望の星学園、名瀬保健所３名、奄美市福祉政策課２名、奄美市健康増進課、龍郷町保健福祉課２名、ぴあリンク奄美

リモート：ここ２名、シエル、のぞみ園、聖隷かがやき４名、相支：聖隷かがやき、相支：のぞみ園、大島養護３名、ぴあリンク奄美

1.参加者自己紹介

2.報告等

○大島養護学校の学校見学について

６月の見学は中止。７月頃に再度計画予定の為、改めて再度案内を送付予定。

○事務局より（ぴあリンク奄美 福崎）

- ・子ども部会及び子ども支援 net について
- ・昨年度の振り返り
- ・今年度目標及び計画について

※別紙資料に基づき説明

3.情報提供

○医療的ケア児の円滑な保育所や幼稚園の利用について（奄美市健康増進課）

○令和３年度報酬改定について（奄美市福祉政策課）

※別紙資料参照

- ・放課後等デイサービスの利用が 30 分以下になってしまった場合の対応について。
- ・強度行動障害対応加算について
- ・個別サポート加算Ⅰについて（複数事業所を利用されている場合の申請及び請求時の対応について）
- ・個別サポート加算Ⅱについて（加算時の受給者証への印字について）

4.協議事項

- ・療育施設に対する、土日等の開所の要望に対する、各事業所の現状と今後の対応について

⇒土曜、祝祭日開所している事業所も複数あり。職員配置、そのための人員確保など課題も多いが、出来る

だけニーズに応じていきたいとする事業所あり

※なかなか話が進まない状況があるが、職員の確保や地域プロジェクトとしての連携などが大切と感じた。
今後も町の検討会などで継続して協議していきたい。

・日曜のサービスについて、奄美市でのニーズ奄美市での希望状況は？

⇒希望の星学園は、子どもの数が減少しているため、今年定員を 30 名から 20 名に減らした。児相からの虐待等による入所の受け入れは厳しい状況になっている。レスパイト事業として、日中一次支援を行っているが、日曜は特に、成人の固定の利用者の日中一時や短期入所の利用が多い。土日の受け入れをすることで職員の休みが平日に移り、平日が人手不足になることも定員を減らした理由でもある。さらにコロナの影響で、現在は受け入れの際に条件を設けている。

利用の希望がある時は、相談支援専門員に間に入ってもらい、短期入所担当へ連絡してもらえれば。

※保護者のニーズはあるので、短期入所だけでなく通所の事業所もどこまで対応できるか、今後検討していく必要がある

3.その他

- ・北部地域子ども支援 net の開催について（部会資料参照）
- ・そだちサポートプロジェクトについて